

★JAXA・やまぐち宇宙教育推進事業★

★2021 活動レポート①★

山口県教育庁
社会教育・文化財課
2021年10月6日

☆「大人版宇宙の教室」オンライン開催！☆

10月の2日間、「第1回大人版宇宙の教室」が開催されました。講師には、「NPO 法人 子ども・宇宙・未来の会（通称：KU-MA）」の副会長である稲葉 茂氏を迎えましたが、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮して、神奈川県と山口県の各受講者とを「web 会議アプリ zoom」を活用してつないだ、初の完全オンライン開催となりました。オンラインであることを感じさせない和やかな雰囲気の中、宇宙教育に関する講義や科学実験を行いました。

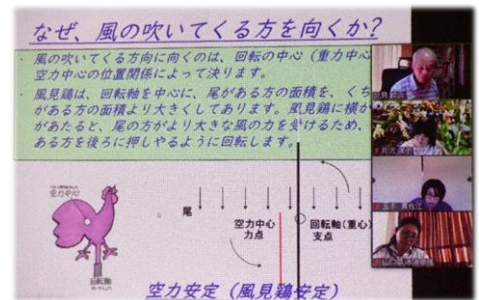
宇宙教育と言えば、「地球外の空間について学ぶこと」と考えてしまいがちですが、KU-MA が進める本講座は、身近な現象に対して科学的アプローチで考えることを通して、子どもたちに好奇心や冒険心・匠の心を身に付けていき、「宇宙の片隅にひっそりとある『私たちの命』について考える心の教育」をめざしています。これから指導者となっていく参加者の方にも、科学を通して「命の大切さ」について考えていくきっかけとなりました。



☆童心にかえる大人たち！☆

今回の講座では、主に3つの実験を実施しました（①スポイトロケット、②かさ袋ロケットと風見鶏、③海の水は、なぜ青い？）。どれも、KU-MA が全国で展開している「宇宙の学校®」で実施されているもので、体験を通して科学について理解する要素が盛りだくさんでした。特に、ロケットが飛んでいく仕組みを、教材を使って体験していく際には、まるで童心にかえたかのように、夢中になって活動していました。

また受講者には、今回学んだことをインプットするだけでなく、様々な場面でアウトプットしていくことが求められています。自分たちが体験した宇宙教育の魅力を、「未来の世界から預かっている子どもたち」に対して伝えていくことを通して、山口県の教育力をさらに高めていく指導者へと進んでいくことでしょう。



風見鶏は、なぜ風の吹く方向が分かるのでしょうか？実は、ロケットを飛ばす原理にも関わっています！

☆参加者の感想よい☆

カール・セーガン「惑星」より

○自分自身の好奇心や探求心を満たすことに加え、安全管理など指導者としての心構えについてのお話もあって良かったです。受講者の方々には、今日の学びを持ち帰って活用しようという意識があり、凄い、見習おうと思いました。

○稲葉先生の講義は、わかりやすく私達の身近なものすべてが宇宙の中の出来事なんだと理解しました。私が心に残ったのは、『家庭は、3つの心（好奇心、冒険心、匠の心）がふくらみ輝く、人生最初の場です』という言葉でした。我が子がもっと小さい時期に聞いておけばと感じてしまいました。

